

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第29週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (29週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 10例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：報告なし。5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型、病名	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	肺結核	症状なし
		都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	咳、胸痛
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	男	結核性膿胸	胸水貯留
		日南	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		高千穂	40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
60歳代	男		無症状病原体保有者	—		
中央	50歳代	女	疑似症患者	咳、痰		
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	胆管炎

□ 定点把握の対象となる5類感染症

《前週との比較》

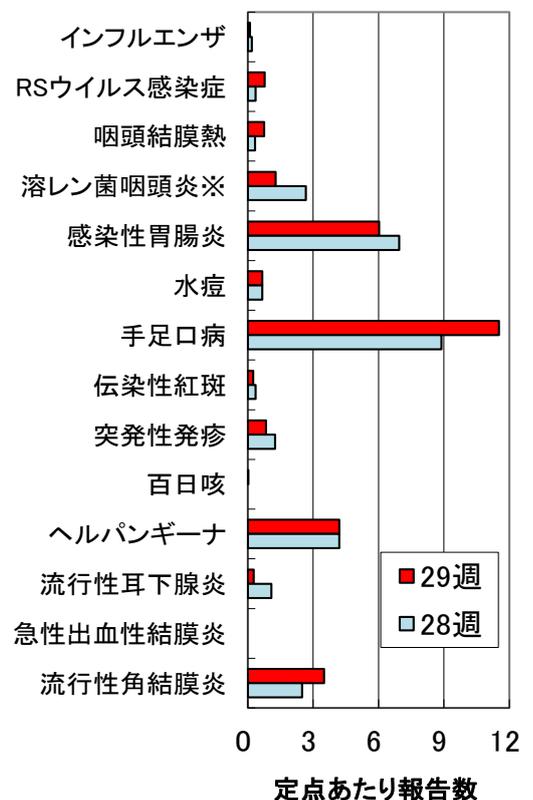
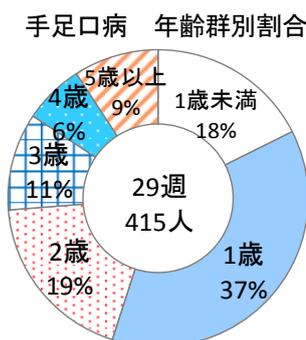
・定点医療機関からの報告総数 988人 (定点当たり 30.6) で、前週比 104% とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

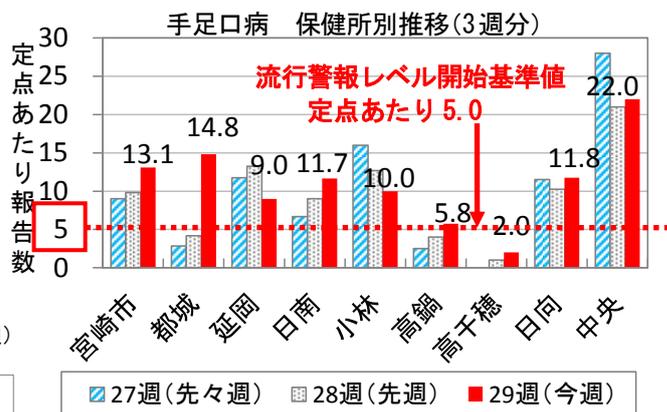
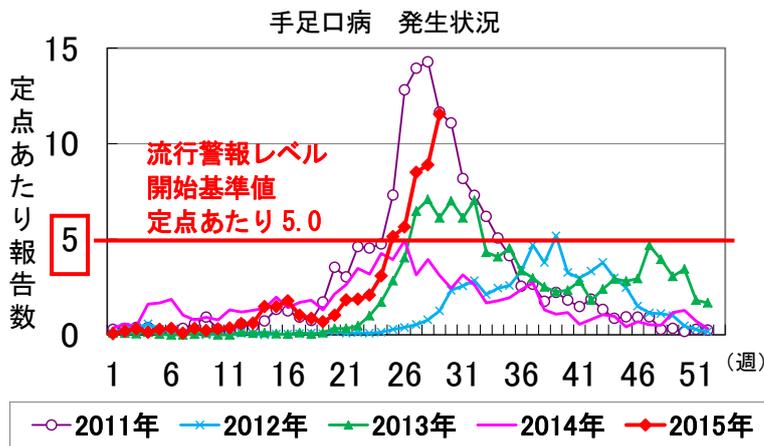
【手足口病】

・報告数は 415人 (11.5) で、前週比 130% と大幅に増加した。流行警報レベル開始基準値 (5.0) を 5週連続で超過した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.6) の約 2.1倍と多い。中央 (22.0)、都城 (14.8)、宮崎市 (13.1) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2歳が全体の約 6割を占めた。

*過去5年間の当該週、前週、後週 (計 15週) の平均値。

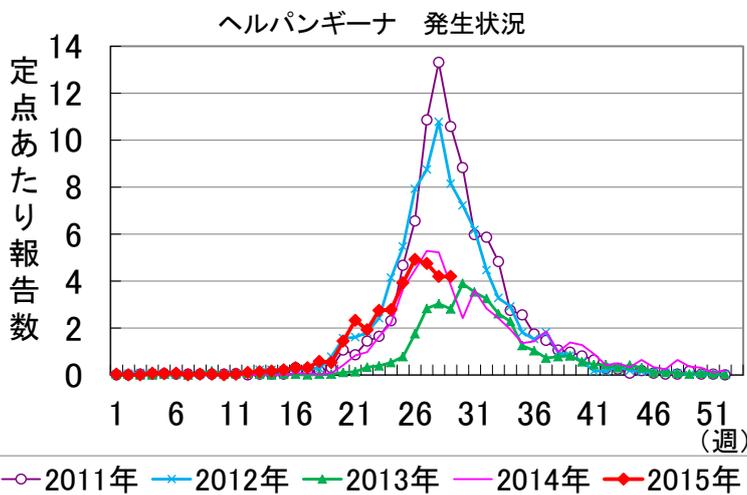


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

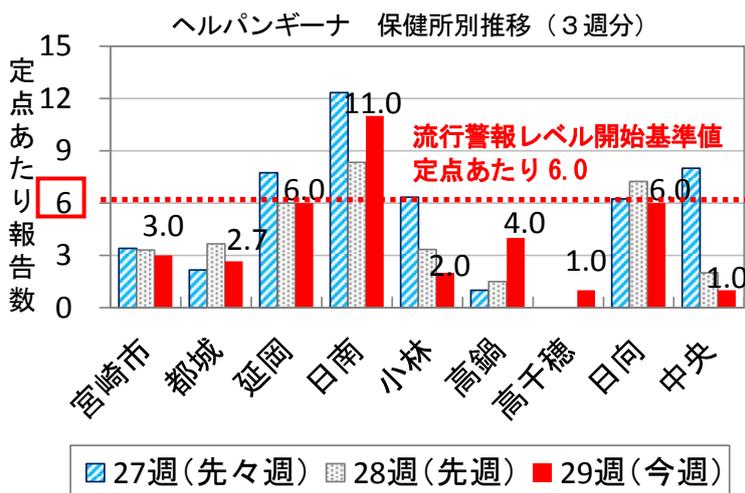
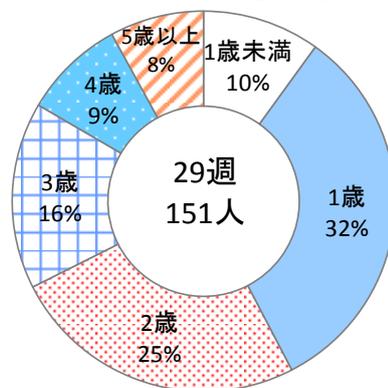


【ヘルパンギーナ】

・報告数は151人(4.2)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.8)の約0.7倍であった。日南(11.0)、延岡・日向(各6.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。



ヘルパンギーナ 年齢群別割合



★基幹定点からの報告★

○クラミジア肺炎：日南保健所管内で1例報告された。

10歳代で病原体は *Chlamydomphila pneumoniae* であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：日向保健所管内で2例報告された。

0歳と1~4歳が各1例ずつで、病原体の群別不明。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(13.1)
都城	手足口病(14.8)
延岡	手足口病(9.0)、ヘルパンギーナ(6.0)
日南	手足口病(11.7)、ヘルパンギーナ(11.0)
小林	手足口病(10.0)
高鍋	手足口病(5.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(11.8)、ヘルパンギーナ(6.0)
中央	手足口病(22.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

🇯🇵 全国第 28 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 28 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	352 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	140 例		
4類感染症	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	5 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	6 例	日本紅斑熱	3 例
	ブルセラ症	1 例	マラリア	2 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	45 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例	急性脳炎	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	15 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘（入院例）	4 例
	梅毒	34 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例
	風しん	3 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 112%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

手足口病の報告数は 23,329 人(7.4)で前週比 135%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約 1.7 倍と多い。福井県(19.9)、奈良県(15.7)、京都府(14.8)からの報告が多く、年齢別では 1~2 歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 8,363 人(2.7)で前週比 138%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(4.0)の約 0.7 倍と少ない。三重県(10.6)、愛媛県(7.7)、福岡県(7.3)からの報告が多く、年齢別では 1~3 歳が全体の約 6 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第29週(7月13日～7月19日)

疾病名		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	11	6		3			1			2	
	定点あたり	0.19	0.10	0.00	0.30	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	28		3			22			3	
	定点あたり	0.36	0.78	0.00	0.50	0.00	0.00	7.33	0.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	27	3	4	4	6	2	2	1	5	
	定点あたり	0.33	0.75	0.30	0.67	1.00	2.00	0.67	0.50	1.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	96	46	5	9	11	9	2	4		4	2
	定点あたり	2.67	1.28	0.50	1.50	2.75	3.00	0.67	1.00	0.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	250	217	44	39	12	34	29	12	11	29	7
	定点あたり	6.94	6.03	4.40	6.50	3.00	11.33	9.67	3.00	11.00	7.25	7.00
水痘	報告数	24	24	15	1	1		2	2			3
	定点あたり	0.67	0.67	1.50	0.17	0.25	0.00	0.67	0.50	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	320	415	131	89	36	35	30	23	2	47	22
	定点あたり	8.89	11.53	13.10	14.83	9.00	11.67	10.00	5.75	2.00	11.75	22.00
伝染性紅斑	報告数	13	9	4	1		4					
	定点あたり	0.36	0.25	0.40	0.17	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	45	30	5	4	8	4	2	4		3	
	定点あたり	1.25	0.83	0.50	0.67	2.00	1.33	0.67	1.00	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	151	151	30	16	24	33	6	16	1	24	1
	定点あたり	4.19	4.19	3.00	2.67	6.00	11.00	2.00	4.00	1.00	6.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	39	10	7	1	1		1				
	定点あたり	1.08	0.28	0.70	0.17	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	21	10	9	2						
	定点あたり	2.50	3.50	3.33	4.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		2								2	
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～29週)

2類感染症	結核	121例(10)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	5例	マラリア	1例	レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例(1)
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	11例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	5例				

()内は今週届出分、再掲